2013-2014 年度今治ロータリークラブ週報

No.17

第 17 回 例 会 報 告（10月31日）

【 出 席 報 告 】

・会員数　５５名　・出席数　３２名　・欠席数　２３名
・当日出席率　６４．００％　・前々回修正出席率　８６．５４％
＜欠席会員＞青野(賢)、原田、原、檜垣(賢)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、平田、鎌田、冠、木村、小堀、桑森、宮本、大澤、竹田、田中、渡辺
〔免除会員〕青野、飯、松本、白石、高木、八木
<10/17 欠席補填>(10/5 地区大会)近藤、村上(修)、渡邊　(10/6 地区大会)松木、西本、吉田　(10/15 今治南)吉良、尾越　(10/16 新居浜南)村上(裕)　(10/21 今治北)冠　(10/29 今治南)桑森

◇会長報告・出席優秀者表彰　21 回　松木徹夫会員

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・村上裕一会員：30 歳で今治に帰って来て 16 年になります。今日は会員誕生日、夫人誕生日、結婚記念日と“三冠王”になってしまいましたが、自己出席率は 100%です。

米山記念奨学委員会アワー

◆米山記念奨学生　劉丹璐さん『日本が教えてくれたこと』:私は、中国で一番北にある黒竜江省の出身です。夏は涼しいのですが、冬はマイナス 30 度位になります。▼日本へ来る前の日本の印象は、家電大国です。中国では、日本の家電はおしゃれで贅沢な生活の象徴です。みんな日本製を欲しがります。去年、父が日本へ出張した時も、土産に 100 円ショップの爪切ではなく、コンビニの爪切りを買いました。100 円ショップの爪切りは中国製ばかりで日本製がなかったからです。そして、もう一つの印象は、日本のアニメーションです。美少女戦士セーラームーン、鉄腕アトム、ちびまる子ちゃんなどと一緒にすばらしい子供時代を過ごしました。小さい頃から日本文化に対して心に敬意が満ちあふれています。日本留学を決意したきっかけです。▼「日本人は厳しい」というのが中国での一般的な印象です。「世界でもっとも礼儀正しく、もてなしが上手な国」これは日本が多くの外国人に与える印象です。しかし、その一方で「作法が厳しい国」と思っている外国人も少なくないようです。私は自らの体験で、それは決して嘘ではないことがわかりました。高松でボランティアの先生と互いに料理を教えていました。中華料理は、材料や調味料を「適量加える」というレシピが多く、その「適量」のせいで、失敗したことがありました。私には当たり前のことでしたが、こんないい加減な作り方では納得できないようで、「小さじですか、大さじですか、千切りですか、みじん切りですか」など、質問が絶えませんでした。なんとか作り終え、いよいよ試食の時間になりました。先生が「美味しい。」と言ってくれたので、安心して食べました。すると、塩辛くて食べられないぐらいでした。先生の美味しいは、お世辞だったのです。こんなに真剣に料理を習っている人に、適量でごまかそうとした自分が恥ずかしく、反省しました。▼また、バスに時刻表があることに驚きました。中国ではバスの時刻表はありません。私たちはただひたすら待つのが普通です。バスには運転手の他、運賃を受ける人、切符を売る人がいます。そうでないと、無銭乗車が絶えません。日本では、バスの運転手のみでもきちんとバス代を支払います。ここで、日本人の時間の厳しさ、マナーの良さを知ることが出来ました。近くの消防署では、訓練でさえ真面目に手を抜くことなく熱心に取り組んでいます。▼文化や価値観の違いはありますが、中国では厳しいというのはマイナスイのメージです。しかし、日本人の厳しさとは真剣・丁寧・誠実などプラスのイメージです。「品質に対しての厳格さ」や「何事にもルールを守る」「自分の都合でごまかすことをしない」など、マナーの良さを現す言葉だと思うようになりました。日本での留学経験をいかし、「日本の厳しさ」を中国に広め、人生を着実に歩んでいきたいと思います。困った時に助けてもらった恩は忘れず、恩義には必ず報いるようにという中国の諺があります。米山記念奨学生として日本で学んだ事を大切にし、日中の橋渡しをしたいと思います。

＜ゲスト＞　米山記念奨学生　劉丹璐さん

次 回 例 会（11月7日）

【 ロータリー財団委員会アワー 】

＜会員誕生日祝＞　大澤　正尚氏（11/13）
＜結婚記念日祝＞　西信　正男氏（11/9）

〔 国際ホテル 〕